

## 1 大阪府における孤独・孤立対策について

### ■ これまでの取組、課題、あるべき姿

- ・ 従前より各種支援を実施している、庁内各担当課による関係課長会議を設置し、課題の共有や支援策の検討を行っている。
- ・ 今後の施策検討のため、市町村、社会福祉協議会、支援機関向けに支援の状況等に関する実態調査を実施している。
- ・ 令和4年度末に策定する「孤独孤立対策推進指針」（以下「指針」）において、府としての施策の方向性を示す。  
(大阪府孤独・孤立公民連携プラットフォーム（以下「PF」）に係る取組については次項にて説明)

## 2 大阪府版孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの形成

### ■ PF等の設置・構成

- ・ 大阪府ではPFと幹事会を設置。
- ・ PFの構成は、市町村、社会福祉協議会の他、民間企業や子ども食堂や居住支援法人、子ども・若者、高齢者、生活困窮者支援団体等の支援団体に対して、幅広く参加を募る。
- ・ 幹事会の構成は、府の市長会長、町村長会長、社会福祉協議会関係3名、学識経験者2名。今後、必要に応じて民間の支援団体も参画も検討する。
- ・ PFは参画団体相互の意見交換や情報発信の場とし、幹事会はPFの運営方針等についての意思決定を行う場とする。

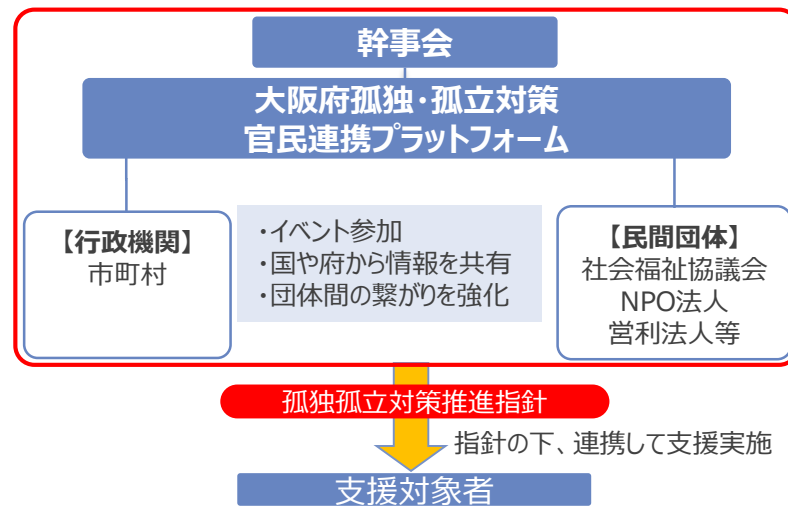
### ■ PFが果たす役割

- ・ 業種や分野を超えた連携の場づくりのため、以下のような取組を行う。
  - ✓ 行政の施策やイベント等の情報共有
  - ✓ 参画団体の情報共有
  - ✓ 「孤独・孤立」支援の好事例の共有
- ・ 府において策定した指針の下、市町村や支援団体等が連携し、実効的な対策を行うためのネットワークとして機能することを目指す。
- ・ 参画団体への情報発信をメーリングリストを用いて随時実施していく。

### ■ PFの直近の活動

- ・ 令和4年12月22日「孤独・孤立フォーラム」を開催。
  - ✓ 村木参与による基調講演、パネルディスカッション等を実施
  - ✓ 本フォーラムをもってPFの立ち上げを宣言
  - ✓ PFの参画団体等も随時公表。

### ■ PF組織図イメージ



## ■ プラットフォーム形成に至るまでのステップ

### STEP 1 全庁横断的な推進体制の構築

- 府庁内関係各課を構成員とした関係課長会議を設置し、検討を開始（令和4年8月）。

### STEP 2 アンケート調査の実施

- 府内の自治体、社会福祉法人、NPO等の関連団体に対しアンケート調査を実施し、府内で孤独・孤立に関してどのような活動をしている団体が存在するのか、どのような相談事案があるのか等について把握。（令和4年10～12月）。

### STEP 3 設置の宣言、参画団体の募集開始

- 「孤独・孤立フォーラム」を開催し、PF設置を宣言（令和4年12月）。府HPにおいて参画申込の受付と参画団体の公表を行っている。

### STEP 4 設置後間を置かず運用を開始

- PF設置後間を置かず、参画団体の募集と並行して、MLを活用して府から参画団体に向けた情報発信を行う等、オンラインベースでの実運用を開始。

### STEP 5 指針の策定

- 令和4年度内に府としての指針を策定するため、上記の関係課長会議やプラットフォームの幹事会に諮問しつつ作業を進めている。

## ■ プラットフォーム形成における工夫

### 広域自治体として、市町村を含め、多数に及ぶ関係団体・府民へ意識啓発・情報共有を行うための実効的なツールとして活用

- 府が掲げる、支援の行き届かない、特に制度のはざまに陥りがちな支援対象者を無くすという最終的な目標に向けて、取り組んでいく。
- 孤独孤立の対策として実施する取組みは既に様々実施されているが府庁内や市町村において十分に活用しきれていない部分がある。そこでまずは既存施策を整理し、府庁内や市町村において理解を深めてもらうと同時に、意識啓発を図っていく。
- その上で社会福祉協議会、NPO等との連携を図っていく取組みを進めていく。
- そのため、府内市町村に対してもPFの参画を促しており、今後、市町村の担当者を集め、既存施策の整理・活用や孤独・孤立の考え方の啓発のための会議を開催する予定であり、市町村の意識啓発・支援のための枠組みとしてPFを活用することとしている。
- また、PFにおいては対面での会議を開催することのみに拘らず、ML等を使い、日頃の情報共有・意見交換を積極的に図ると共に、事例展開にも活用していく予定。

## ■ 次年度以降予定している取組（案）

- ML等を用いた情報発信は既にスタートしており、今後も随時実施していくと共に、令和5年度には、府や各参画団体の取組内容等について、府や各参画団体の取組内容について、ML等を使って相互に情報を共有しつつ、意見交換の場を設けたり、対応事例を抱えている参画団体から事例の展開を行ったりする等の活用を検討している。
- また、対面での意見交換の場を設けたり、対応事例を抱えている参画団体から事例の展開を行ったりすること等を検討している。

### 3 試行的事業の実施状況

事業名称	事業内容	目的・期待される効果	実施時期	発注先 (予算配分)
孤独・孤立フォーラムの開催	孤独・孤立についての基調講演、取組事例の紹介を行う。(誰でも参加可能)	孤独・孤立対策の啓発 PF設立を宣言すること	2022.12.22	エル大阪(会場費)(454,073) 丸井工文社(テキスト作成)(351,000) サムシングファン(後日共有用動画作成)(370,000) 講師(54,670)
孤独・孤立フォーラムの開催に関する広報ポスター・チラシの作成	孤独・孤立フォーラムのチラシを作成し、庁内開催のイベントやセミナー、経済団体等において配布する。	孤独・孤立フォーラム開催の周知、参加を呼び掛けること	2022.12	丸井工文社(144,000)
実態調査アンケート	府内の自治体、社会福祉協議会、民間支援団体等を対象として孤独・孤立対策に係る団体の活動状況や、団体が対応するケースの特徴等をアンケートにより把握する	今後の施策検討に反映すること	2022.10.24~2022.11.30	NTTデータ経営研究所(900,000)
			計	(2,273,743)

